



シリーズ 家族の笑顔

飯岡地区在住の福士さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P12)

やまと

議会だより

No. 170

2021. 2. 1発行
岩手県山田町議会

12月
定例会

○ 鯨と海の科学館 山田町観光協会が運営へ - 2P

○ 町政を問う (6人が一般質問) - 4P

○ 議会活動レポート - 11P

鯨と海の科学館

山田町観光協会が 運営へ

12月

定例会の
あらまし

令和2年12月定例会は12月15日から17日まで3日間にわたり開かれました。町長提案の議案16件を審議し、全て原案のとおり可決しました。（2ページ）

一般質問では6人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。（4～10ページ）



民間活力の導入によりさらに魅力ある施設へ



■質疑応答
問 指定管理者とするからには、民間の活力の導入というのも大きいと思う。今回の指定管理制度

山田町立鯨と海の科学館の指定管理者の指定について全員賛成で可決しました。

▽指定管理者 一般社団法人山田町観光協会
▽指定期間 3年4月1日～6年3月31日



様々な企画展にも期待

を使ってどのような展開を行っていくのか。
加藤生涯学習課長 これまで以上に魅力のある館づくりをしていただきたい。山田に足を運んでいただけるように、一生懸命頑張っていただき、入館客を呼び込んでいただきたい。

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、3月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。

定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

■町議会議員・町長選挙運動の公費負担

公職選挙法の一部改正に伴い、町議会議員及び町長の選挙において、選挙運動用自動車の使用や選挙運動用ビラ・ポスターの作成に係る費用が公費負担の対象となる条例の制定について、全員賛成で可決しました。

■一般会計補正予算を可決

元年の台風被害に係る河川等の改修事業、新型コロナウイルス感染症対策関連事業などの予算調整を行うための補正予算(第6号)が提案され、14億6915万円増額し、補正後の金額を156億9222万円とすることを、全員賛成で可決しました。

■教育用パソコン買い入れ

国のGIGAスクール構想の実現に向け、一人一台パソコン端末を整備し教育環境の充実を図るために、町立小学校及び中学校で利用する教育用パソコンを買い入れることについて、全員賛成で可決しました。

▷取得金額 4859万円

▷数量 940台

▷受注者 リコージャパン株式会社販売事業
本部岩手支社岩手営業部(盛岡市)

人事案件

選挙管理委員会委員、補充員の選挙

本町の選挙管理委員と補充員の任期満了に伴い、選挙を行いました。当選した委員と補充員は次のとおりです。



中村敏彦氏



鈴木協子委員長

町教育委員会の委員

中村敏彦氏の再任に同意

現在の教育委員である中村敏彦氏の任期満了に伴い、中村氏の再任に同意することについて、全員賛成で同意しました。任期は2年12月17日から6年12月16日までとなりています。

任期は2年12月19日から6年12月18日までとなっています。

皆さまからの
請願

■「山田町に放射性廃棄物を持ち込ませない条例(仮称)」制定についての請願

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

豊かな三陸の海を守る
岩手県消費者団体連絡
会 共同代表

横田 有平 氏

協議会
会長
川村 元 氏

提出者

～町政を問う～

一般質問 6人登壇

12月定例会では、12月15日から16日の2日間にわたり、6人の議員が39件の一般質問をし、活発な議論が展開されました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をただすことです。議員の質問時間は1人20分以内で、町側の答弁時間は含みません。

紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、3月下旬ころから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。

一般質問

質問議員 (質問順)	質問事項		掲載 ページ
関 清 貴	<input type="checkbox"/> 道路行政について <input type="checkbox"/> 産業振興について	<input type="checkbox"/> 教育環境について <input type="checkbox"/> 福祉施策について	5
阿 部 吉 衛	<input type="checkbox"/> オランダ島について <input type="checkbox"/> 環境衛生について <input type="checkbox"/> 船揚げ場について	<input type="checkbox"/> 関口川災害対応について <input type="checkbox"/> 水産業について	6
昆 清	<input type="checkbox"/> 三鉄支援について <input type="checkbox"/> 当町の津波対策について <input type="checkbox"/> 草木地区について <input type="checkbox"/> 織笠水門について	<input type="checkbox"/> 高齢者向けの避難取組について <input type="checkbox"/> 織笠上地区の道路拡張について <input type="checkbox"/> 飯岡第10地割の道路拡張について <input type="checkbox"/> アサリ漁場環境整備事業について	7
木 村 洋 子	<input type="checkbox"/> 地域医療について <input type="checkbox"/> 補聴器購入の助成制度について <input type="checkbox"/> 小学校の統合について <input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症対応臨時交付金について	<input type="checkbox"/> 介護施設のPCR検査について	8
菊 地 光 明	<input type="checkbox"/> 来年度予算について <input type="checkbox"/> 復興交付金について <input type="checkbox"/> 各種事業について <input type="checkbox"/> 管理人について <input type="checkbox"/> 避難所について <input type="checkbox"/> 虐待について	<input type="checkbox"/> 総合計画について <input type="checkbox"/> 派遣職員について <input type="checkbox"/> 限界集落について <input type="checkbox"/> 漁港施設について <input type="checkbox"/> ふるさとセンターについて <input type="checkbox"/> 教育行政について	9
豊 間 根 信	<input type="checkbox"/> コミュニティ交通網の今後について <input type="checkbox"/> コロナウィルス対応施策の今後の取組について <input type="checkbox"/> 持続可能な開発目標への町の取組について <input type="checkbox"/> 給食センターの現状と今後の課題について <input type="checkbox"/> 小中学校全生徒へのパソコン利用への対応について		10

議会を傍聴しませんか

次の定例会は令和3年2月12日（金）に
開催される予定です。お気軽にお越しください。

小中学校のいじめ問題は

重大事態はない



關 清 貴 議 員
(政 和 會)

問 新たな学
いて学力面で
生徒の指導に
んでいるか。
佐々木教育長 学校からの引
り、個別対応
る。小学1年
級に学校支援
し、学習支援
る。
問 いじめは
るか。
教育長 2年
において、小

問 新たな学習環境において学力面で心配な児童生徒の指導にどう取り組んでいるか。
佐々木教育長 統合前の学校からの引き継ぎにより、個別対応に努めている。小学1年生は、各学級に学校支援員を配置し、学習支援に努めている。
問 いじめは発生しているか。
教育長 2年11月末時点において、小学校3校で

18件、中学
知している
いじめ防止
づき対応し
報告はない
る。 納付率は
の 納付率は
教育長 2 問 給食費

18件、中学校で20件を認知している。各校では、いじめ防止基本方針に基づき対応し、重大事態の報告はない。

問 山田魚市場の存続に

漁業を支える拠点
あり、町は一部費用の補
続に

問 大浦地区の旧製材所
付近の町道は防潮堤との境が分からぬほど水たまりができる通行に支障がある。防潮堤管理者と協議し、改善策を考えてい
るか。

県と町で改善に努めた。い。
問 町道秀禅上線は復旧工事との兼ね合いで未舗装となっている。生活関連道なので路面修復を定期的に。

山田魚市場の位置付けは

佐藤町長 魚市場は漁業者と消費者をつなぐ役割を担い、漁業を支える拠点であると認識している。秋サケの不漁等で経営が厳しいが関係団体等と経営健全化に向けた取組が進められており、町ではその動向により今後の対応を検討する。

問 復興事業も終わり若者の雇用の場を求める声を聞くが企業誘致活動は。

町長 雇用の受け皿となる企業誘致は、町の発展に欠かせない。コロナ終息後を見据えた対応を進めていきたい。

問 復興で生じた土地を工業用地にできないか。

町長 産業用地として山田地区の国道45号周辺、織笠川左岸部の活用をすることで進めている。

A paved road curves through a rural landscape. A metal guardrail runs along the right side of the road. The left side of the road is bordered by dry, brown grass and debris. In the background, there are houses and trees on a hillside.

環境改善が待たれる大浦地区の町道

大浦地区の道路整備は

改善策を考え進める

県と町で改善に努めた。

問 大浦地区の旧製材所付近の町道は防潮堤との境が分からぬほど水たまりができ通行に支障がある。防潮堤管理者と協議し、改善策を考えてい
るか。

県と町で改善に努めた。い。
問 町道秀禅上線は復旧工事との兼ね合いで未舗装となっている。生活関連道なので路面修復を定期的に。
町長 今後も路面修復に努め、早期の本復旧に向け整備を進める。

オランダ島

浮桟橋は大丈夫か

改良復旧を検討



阿部吉衛議員
(新生会)

問 オランダ島の浮桟橋や柱等に問題はないか。
佐藤町長 浮桟橋は、2年9月26日に太平洋沿岸を北上した温帯低気圧の影響により、係留ぐいを固定するコンクリートアーチカーの位置がずれ、浮体の防舷材や係留チエーン保護材などの一部が破損した。現在、設計コンサル業者において原因究明と改良復旧に向けた対応策を検討している。



滑り材設置は漁業者の皆様の願いです

- ◆ 関口川の災害対策は
- ◆ トラウトサーモン養殖の町の考えは

その他の質問

問 平成30年第4回定例会でも質問しているが、境田と北浜の船揚げ場に滑り材がなく、漁業者の方々は大変困っている。設置がいつになるのか県の回答はあったか。

3年度内に整備予定

船揚げ場に滑り材を

問 平成30年第4回定例会でも質問しているが、境田と北浜の船揚げ場に滑り材がなく、漁業者の方々は大変困っている。設置がいつになるのか県の回答はあったか。

あり、全町的な活動の実施が求められている。現在、活動を休止している地区の組織づくりに時間を要しているところであるが、今後も引き続き、関係各位と意見交換しながら進めていく。

全町的な活動を目指す

環境衛生実践会連合会の今後は

問 町長 境田、北浜両地区の滑り材について、県を確認したところ3年度内に整備する予定とのことである。



昆 清議員
(新生会)

草木地区の避難道は

三陸沿岸道路付近を検討中

問 ここ数年、全国各地で犠牲者が出るなど災害が多発する中で、織笠の草木地区には避難道がなく、地区住民が不安を抱いている状態である。当局はどうのような対応を考えているのか。

佐藤町長 草木地区の避難道について、草木地区の最寄りの指定緊急避難場所は、旧織笠小学校となっており、津波災害が発生、または発生のおそれがある場合は、早めに近くの高台などを含む安

全な場所への避難を呼びかけることとしているが、付近の高台へ直接避難できるよう避難場所の指定に関する要望を受けしており、現在、候補地となる三陸沿岸道路の側道周辺部について、避難経路を含め検討を行っている。



草木地区からの避難道として検討される箇所

アサリ漁場はどこか

細浦と柳沢を予定

問 アサリ漁場環境整備について、場所はどの地区を想定しているのか。

町長 アサリ漁場環境整備の場所について、細浦地区の浅瀬と柳沢地区の関口川河口の2カ所を予定しており、将来的にイベントなどで活用できるアサリ漁場として整備でききないか研究していく。

当町の津波対策は

今後住民への周知を図る

問 報道によると、千島列島付近の地震の影響でかなり高い津波が想定され、各市町村では対応を考えているとのことだが、当町はどうな対応を考えているのか。ま

町長 内閣府が公表した日本海溝・千島海溝沿いの津波による浸水想定に関する対応について、今

後、岩手県が津波防災地域づくり法に基づき定める県内最大クラスの津波浸水想定区域の公表内容

を作成、配布などを通じ、地域住民への周知を図っていく。防潮堤が破壊された場合の被害の想定については、今後、内閣府による被害想定などが示された上で判明するものと考えている。

その他の質問

- ◆二陸鉄道の支援策は
- ◆高齢者の避難取組は
- ◆織笠上地区の道路整備計画は
- ◆織笠水門完成時期は
- ◆なしばたけの道路拡張は

新小学校校舎建設 統合ありきで進んでいるのでは

要望があれば応える



木村 洋子 議員
(日本共産党)

問 佐々木教育長 校舎の建設については、様々な観点から情勢の変化に対応できるように検討している。説明や協議の場は、地域や保護者からの要望があれば応える。

問 学校は地域の宝であり、コミュニティの柱である。2年前の豊間根小と船越小の説明会では反対の声もあった。今、大きな集会が開催できな

新しい山田小学校を建設するにあたり、豊間根小学校、船越小学校を統合した形で進んでいるように見える。統合ありきでは町として禍根を残すことにならないか。地域住民や保護者の声をもつと丁寧に聞くべきである。



助成が望まれる補聴器

いのであれば住民アンケートなど工夫するべきではないか。保護者や住民の声を聞く努力をしているのか。

箱山教育次長 各校の学校運営協議会や保護者の中で話題にしていただき、地域の話し合いの場が必要であれば設けたい。

問 加齢性難聴は生活の質を落とし、鬱や認知症につながることも指摘されている。補聴器は高額であり、保険適用がないため、特に低所得の高齢者は購入を諦めざるを得ない。高齢になつても生活の質を落とさず、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつなげられるよう補聴器購入に助成をすべきでは。

佐藤町長 現在、障害のある方に対して購入や修理費用の一部を助成をしている。加齢性難聴の方に対する補聴器購入の助成を実施する考えはない。

山田病院 医師の充実を

県立山田病院に要望する

問 県立山田病院の整形外科を受診しようとする個人病院の紹介状が必要と言われるようだが。

町長 応援医師による診療時間が月曜日の午後のみであり、診療できる患者数に限りがあることから、紹介状を持参した患者のみ診療しているとのことである。

問 応援医師の診療が週1回の午後のみというのは短いと感じる。医師を増員すれば解消されると思うので県に要望してほしい。

健康子ども課長 今後、要望する予定である。

補聴器購入に助成を

その他の質問

- ◆介護施設にPCR検査を付金の使途は
- ◆コロナ対応臨時交付金の使途は



菊地光明議員
(新生会)

田の浜地区の浮桟橋は

4年度事業採択を目指す

問

漁港検診の際、田の浜地区の浮桟橋設置について船越湾漁協組合長より要望があった。浮桟橋の整備計画があるか。計画がある場合の整備年度はいつか。計画がない場合はその理由について説明せよ。

地元漁協との協議を踏まえ、工事の工法、施工規模、事業費及び費用対効果等の検討を行い、4年度に事業採択を受けるための作業を進めるとのことである。

佐藤町長

田の浜地区における浮桟橋の整備について、宮古水産振興センターを確認したところ、事業の実現に向け動き出した段階であり、今後、



浮桟橋が必要な船越漁港

大沢ふるさとセンター

建設場所は

旧大沢小学校を予定

問

大沢ふるさとセンターについては、前回の定例会で5年度供用開始をを目指し検討中との回答を得ており、建設場所等について地元の意見を聞いており、建設場所等について地元の意見を聞いていると思うが、決定したのか。住民からは、旧大沢小学校の用地を活用したほうが、防災面や利便性などを考えた場合適地であるとの声を多く聞くが、どうか。

町長

ふるさとセンターについては、12月3日に開催した「大沢地区集会施設の建設に関する地区懇談会」において、参加した住民、地域コミュニティ組織の意見として、旧大沢小学校を建設場所として希望するとの結論が示されたことから、町としてもその希望に沿つた形で進めていきたいと考えている。

他の質問

- ◆各漁港を確認すると船揚げ場をはじめ護岸など街灯の少ない地区がみられる。漁業者の安全の確保や防犯を考えた場合、街灯の設置が必要と思われるが、調査の上設置する考えはないか。
- ◆漁港への街灯の設置について、県が管理す
- ◆大浦地区の避難所の整備計画は
- ◆コロナ禍における各種事業の推進は
- ◆限界集落の現状は
- ◆町民グランドの在り方は
- ◆総合計画の進捗状況は
- ◆児童虐待の現状は

- 問
- 各漁港を確認すると船揚げ場をはじめ護岸など街灯の少ない地区がみられる。漁業者の安全の確保や防犯を考えた場合、街灯の設置が必要と思われるが、調査の上設置する考えはないか。
- 町長
- 漁港への街灯の設置について、県が管理す
- る漁港については、現地を調査した上で、適切な対応をとっていくとのことです。町が管理する漁港についても定期的な現地調査を行いながら、引き続き安全・安心な漁港施設の維持管理に努める。

コミュニティ交通網の今後は

より使いやすい交通網の構築に努める



豊間根信議員 (政和翁)

問 各地域において今までの患者輸送バスから地域コミュニティバスへの取組について懇談会等開催し地域の課題を含め様々な意見を踏まえ、町民の皆さんとの思いをどのような形で受け止めどのような策を展開されるのか。また町内経済活性化等が期待される交通網化等が期待される交通網の実現について問う。

佐藤町長 町内8地区において懇談会を開催し、様々な意見をいたたいた。高齢の方々などからは通院や買い物など地域の実情に合った公共交通体系を望む声が多くつた。より使いやすい公共交通網の構築に努める。町内経済への波及効果にも期待している。

問 感染拡大防止と社会経済活動の両立を
当初より冬場にむかって勢いが増すと想定されていたコロナ禍による状況はますます広がりつつある。ワクチン等の対応も現実のものとして期待され報道されているが、いかにして共存しどのように社会的経済活動を持続していけるのか
町長 感染拡大防止と社会経済活動への施策展開が今後の重要課題であり、今後の対応施策展開について問う。
会経済活動への施策展開が重要である。これまでに引き続き、国・県の支援制度を注視し必要に応じた事業の実施を検討していく。

いると思う。町の各事業をSDGsの17の目標に照らし合わせた場合、どの目標にどの事業が合致し、どのような進捗状況であるか問う。

- ◆ 小中学校生徒全員へのパソコン導入による利活用施策及びネット環境整備予定は

その他の質問



山田町から持続可能な世界へ！積極的展開を！

持続可能な開発目標への町の取組は

総合計画の後期計画で示したい

問 持続可能な開発目標 (SDGs・エスディー)

議会活動レポート



タブレットの利便性を体験

議会改革検討特別委員会では、タブレット端末の導入を調査項目の1つに掲げ活動をしており、昨年12月3日、研修会を実施しました。

研修会では、講師による説明のほか、タブレット実機に直接触れ、操作方法や利便性を体験しました。

また、実際に他の議会で使用されている議会用のアプリケーション（復興企画課）を通じて議会のペーパーレス化による費用削減に加え、災害時の有効活用など数値で表せないような様々なメリットを学びました。今後も検討を進めていきます。

研修会では、講師によると説明のほか、タブレット実機に直接触れ、操作方法や利便性を体験しました。また、実際に他の議会で使用されている議会用のアプリケーション（復興企画課）を通じて議会のペーパーレス化による費用削減に加え、災害時の有効活用など数値で表せないような様々なメリットを学びました。今後も検討を進めていきます。

タブレット研修会実施

各常任委員会

所管事務調査を実施

産業建設民生常任委員会 町政へ要望▽▽▽回答

各常任委員会では、それぞれ11月に所管事務調査を実施しました。

総務教育常任委員会は

11月12日と13日に、防災（総務課）、財政状況（財政課）、山田町総合計画（復興企画課）、公共施設（財政課・復興企画課・生涯学習課）、公共交通施策（復興企画課）、小学校（学校教育課）、町税課（税務課）、環境（町民課）、行政改革（町民課）、消防（消防防災課）をテーマに掲げ、集中的に聞き取りを行いました。

産業建設民生常任委員会は11月16日と17日に、長寿福祉課、健康子ども課、上下水道課、水産商工課、農林課、建設課、都市計画課の所管事務について、幅広く聞き取りを行いました。

この調査に基づき町政への要望を提出しました。内容は、回答と併せて次回掲載予定です。

産業建設民生常任委員会

回答

公営住宅の入居者に対する感染症対策への協力を継続的にお願いとともに、必要な応じて、共用部分（エレベーターや集合ポスト等）を消毒するなど、感染予防に努めていく。また、都市公園にあるトイレについては、手洗い洗剤と消毒液を設置し、感染予防に努めているが、緊急事態宣言等が発令された場合には、利用を制限するなど対応していく。

災害復旧事業の実施に当たっては、新型コロナウイルスの影響を最小限に止め、極力遅延することがないよう十分留意していただきたい。

今後も引き続き感染拡大防止対策を徹底し、災害復旧工事の円滑な発注及び施工体制の確保に努めていく。

補助事業については、すべての対象者が補助を受けられるよう制度の周知を図っていただきたい。また、必要に応じて申請期限の延長や新たな補助事業の創設などを検討していただきたい。

公営住宅や公園等の感染症対策を徹底し、必要に応じて利用を制限するなどの措置を行い、利用者が安心して利用できる体制を継続していただきたい。

公営住宅等の感染症対策について、幅広く聞き取りを行いました。内容は、回答と併せて次回掲載予定です。

回答

コロナ禍におけるイベント開催の取り扱いについては、令和2年9月11日付け内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡で、11月末までの取扱方針が示されている。町が主催するイベントの開催に当たっては、この方針に基づき新型コロナウイルス感染症を含む感染症予防対策に取り組んでいく。

具体的には、会場入り口等での検温や混雑状況に応じた入場制限の実施のほか、来場者に対するマスク着用や手指消毒の励行、密集回避等の呼び掛けなど、基本的な対策の徹底である。また、参加者が千人を超えるイベントを開催する場合には、県への事前相談が必要となつており、県より指導をいただいた上で、適切な感染症予防対策を講じていく。

イベント等への対策について

イベント等を開催する場合、新型コロナウイルスを含む感染症対策を十分徹底していただきたい。

公営住宅や公園等の感染症対策を徹底し、必要に応じて利用を制限するなどの措置を行い、利用者が安心して利用できる体制を継続していただきたい。

イベント等を開催する場合、新型コロナウイルスを含む感染症対策を十分徹底していただきたい。

みんなの 「声」 vol. 14

町民の皆さまからの
町への提言、思いなど
を紹介します。

飯岡地区在住の福士さん家族

愛都里（まつり）ちゃん（2歳・長女）
友紀恵さん

農林水産物や観光地
町外へ積極的に発信を！

——町の良いところは住んでいる人たちが田舎ならではの人間味温かみを持つていてるところです。

一町に置む」とは

震災により県外にも山田町の存在が認知されました。新型コロナ禍ですが今後はより積極的に山田町の農林水産物のアピール、観光地のアピールをして町外県外にたくさんのお得意様を作るよう頑張ってほしいです。

——子どもに望むことは
都会にいても里山にいても愛し愛される人
になりますように愛都里と名付けました。名
前のとおりに育つてほしいです。

傍聴席からひとこと

能登 孝枝さん

No.
56

婦人部の人に誘われて、町議会を傍聴したのは3回目になります。毎回知らないことがたくさんあり、とても勉強になります。今回は12月15日の午前中に傍聴しました。道路行政、新たな養殖漁業、教育環境にオランダ島、関口災害対応、三陸鉄道支援、高齢者の避難についてなど、様々な問題について真剣に話し合いがもたれていました。

札幌から、夫の復興支援の応援に山田町と一緒に来て5年目になります。20年以上子どもと関わる仕事をしていくので、今回も教育環境の話を興味深く聞きました。学力面はもちろんのこと、いじめ問題や小中学校の不登校、給食

まり、パソコンの数も一人一台使えるようになるそうですが、素晴らしいですね。また、地域ぐるみで子どもたちを支援している山田町は、とても素敵だと思います。全ての子どもたちが幸せでありますように、と願います。

鎖され、オリンピックの一年延期など、経済活動の疲弊感は想像を絶するものがありました。▼我が町においても、各種事業やイベントが中止を余儀なくされ、経済活動の停滞に追い込まれた一年でありました。迎える令和3年は新型コロナウイルスが収束し、町民各位がオリンピック観戦など笑顔で過ごす一年であることを願うばかりです。（菊地光明）

▼激動の令和2年が終わり、心新たな3年を迎えた。振り返れば、中国で最初に発見された新型コロナウイルスが、一瞬にて全世界を駆け回る事を誰が想像したでしょうか。各国の国境は閉

あとがき

◆發行責任者
議長 昆暉 雄 明清 衛信 寿一 幸龍 田根 間豊 田横 阿部 部幸 委員長 委員會編集特委員會